

I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	04 09 02 02	重点政策分類	環境	所管部課	経済環境部環境衛生課
事務事業名	環境基本計画実践事業			担当課長名	岡野 淳
総合計画分類	C/D	名 称		作成者名	岡山 卓史
政策	04	都市基盤・生活環境		担当歴	平成 30 年度から
施策	09	地球環境の保全		電話(内線)	548
基本事業	02	省エネルギー対策の推進		事業年度	開始年度 H23年度 終了(予定)年度 -
H29会計区分	1	一般会計		新継区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算科目	款	4 衛生費		経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 補助・単独区分 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
	項	1 保健衛生費			<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> その他
	目	5 環境保全対策費			
予算書上の事務事業名	環境基本計画実践経費(平成29年度未計上)			根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載 伊達市環境基本条例、第二次伊達市環境基本計画

II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	本市の環境を含む地球環境		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 市民と協働 (委託・交付先等:)						
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	「第二次伊達市環境基本計画(H21~30年度)」を市民総意で推進するために設置された伊達市環境基本計画実践懇話会の協議検討に基づいて、市民レベルの具体的な推進策や実践方法を探り、これを市民等とともに率先して実施する。								
	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値	
	「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載								
成果	①	環境家計簿モニター登録者数	人	106	107	91	モニター制中止	モニター制中止	-
	②	こどもエコ川柳応募作品数	句	366	184	479	481	550	500
	③								
成果指標の考え方・計算根拠等	市民の環境に対する意識を高めるため、市民が直接参加できる取組を指標としている。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	環境家計簿については、二酸化炭素排出(削減)量の比較のため、2年以上継続する必要があるが、当初モニター制としていたが、提出にばらつきがありモニタリングが困難となっていることから、任意による取組とする方針とした。こどもエコ川柳については、市内小学校に協力依頼し、4~6年生を対象に冬休み期間中の作成・募集を行っている。								
	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値	
活動実績	「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載								
	1	伊達市環境基本計画実践懇話会開催回数	回	4	-	-	-	-	-
	2								
3									
活動指標の考え方・計算根拠等	伊達市環境基本計画実践懇話会を年4回開催 ※第二次環境基本計画が平成25年度で折り返し地点を迎え、一定の役割を終えたため解散								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	環境家計簿については、毎月の電気、燃料、水道使用量やごみ排出量にCO2排出係数を乗じ集計、記帳する作業の負担が伴い、モニター辞退者、家計簿回収率の低下が目立ち、モニター制の意義が失われ継続が困難な状態となったため、現在はホームページ掲載による任意参加としており、取組内容の見直しは課題となっている。こどもエコ川柳については、近年応募数が好調で推移している。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組事項、設定した目標を具体的に記載								
	環境家計簿については、協力者の負担軽減、参加意識の高揚など工夫が必要で検討を要する。								
	上記の重点的取組事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
改善点	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度) 既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他							
	<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度) 改善を検討中(又は実施中)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他					提言された事業に多くの市民が参加できるよう、事業内容や手法の見直しを適宜行う。		

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	04 09 02 02	重点政策分類	環境
事務事業名	環境基本計画実践事業		CD 02

所管部課	経済環境部環境衛生課
担当課長名	岡野 淳
作成者名	岡山 卓史

Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
直接事業費 (A) 千円	69千円			18千円		
国・道支出金 千円						
地方債 千円						
その他特財 千円						
一般財源 千円	69千円			18千円		
参考人件費 (B) 千円	548千円	582千円	579千円	573千円	567千円	584千円
一般職員 千円	548千円	582千円	579千円	573千円	567千円	584千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
投入経費 C=(A+B) 千円	617千円	582千円	579千円	591千円	567千円	584千円
人件費比率 D=(B/C) %	88.8%	100.0%	100.0%	97.0%	100.0%	100.0%

Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	目的妥当性	<p>今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？</p> <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性①	<p>結果が出ているか？</p> <input type="checkbox"/> 目標とする結果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 少し結果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように結果が出ない
	有効性②	<p>成果を向上させることはできるか？</p> <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい
	効率性	<p>妥当な経費で事業が執行されているか？または、成果を落とさずに投入経費を削減することはできるか？</p> <input type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は難しい
	公平性	<p>事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>環境家計簿については、各家庭で二酸化炭素の排出量を把握し削減に努める趣旨であり、地球温暖化防止意識向上のための取組の一つとなっているが、普及するには、その前段として、環境問題への関心や意識付けのため地道な取組が必要である。また、こどもエコ川柳については、環境意識の醸成、啓発を趣旨とし、環境学習としての側面もあり、応募数が好調で推移しているため、今後も継続して行っていく。</p> <p>今年度策定している第三次伊達市環境基本計画においても、地球温暖化防止に向けた取組として、二酸化炭素削減に関する施策を講ずることとしており、環境家計簿も有効な取組の一つであると考えていることから、普及についての工夫などを検討し、事業を継続して行っていく。</p>

担当課長コメント	<p>事業の進捗状況及び今後の展望等について記載</p> <p>こどもエコ川柳においては、環境意識の向上に成果を上げている安定した事業であることから、今後も引き続き行っていく。また、環境家計簿については、その家庭における環境負荷の度合いを理解できるものとなっているが、継続して家計簿をつけていくためには負担となることから、今後、家計簿内容等の工夫が必要と考える。</p>
-----------------	---

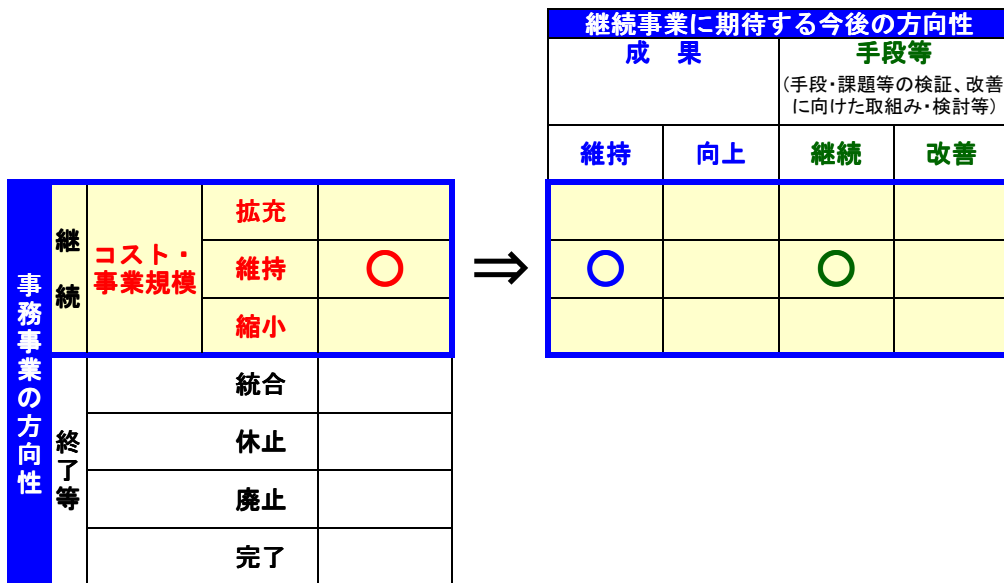
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業	総合計画統括CD	04	09	02	02	重点政策分類	環境	所管部課	経済環境部環境衛生課
事務事業名	環境基本計画実践事業					事業CD	02	担当課長名	岡野 淳
								作成者名	岡山 卓史

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○	
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		△
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○
			大きく向上できる	△
	効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○	
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合であっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		△

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

環境意識の向上のため、今後も引き続き意識啓発の取組を進めるとともに、その手法についてもより効率的・効果的に実施できるよう検証を行っていくことを期待します。